



# グローバルPBL体験談

実施年度	2021年度
プログラム連番	87
実施形態	オンライン
担当教員	応用化学科 吉見 靖男先生
実施期間	2021年7月24日～9月4日
実施協定校	ウィディアマンダーラカトリック大学スラバヤ（インドネシア） 国立台湾科技大学（台湾） 大阪工業大学（日本）

# 参加学生体験談（要旨）

芝浦工業大学柏高等学校

1年

私は化学が好きで、高校1年のためあまり知識はありませんが、今ある知識だけでも参加できるプログラムであり、化学の専門知識をもった大学生と化学について話したり、化学についてより詳しくなれる良い機会だと思い参加しました。様々な国の人と交流できるプログラムで、自分の英語力向上にもなる点もよいと思いました。

私が今回学んだことは考え方が違う人に自分の意見を正確に伝えることの大変さと大切さです。私はチームの実験班になり海外の先輩と役わり分担をして実験動画を制作することになったのですが、だれが何をどこまでするかというのをうまく把握できず、質問しようにもうまく伝えられず、苦しい思いをしました。学校内などの狭い範囲で、日本人同士で日本語で意思疎通するときは、自分の伝えたいことはそこまで苦労しなくても伝わりますが、海外の人と英語で意思疎通することの難しさを痛感しました。どうしたらどのような人にでもわかりやすく伝わるのかと考えたり、言語だけでなく考え方も大きく違う人にいかにして伝えるかというコミュニケーション方法を理解したり考え方たりするととてもいい機会になりました。

また化学の面では実験の解説動画を作る芝浦工大の大学生の先輩とペアになったのですが、実験が失敗してうまくいかないときは相談に乗ってくれたりアドバイスをくれました。解説動画の原稿の確認や、実験の原理や化学反応についても先輩の原稿を見ることで詳しく知ることができました。先輩に支えていただき、化学という学問にもより興味を持ち、詳しくなれました。

参加を迷っている人は、時間があれば絶対に参加することをおすすめします。英語が話せなくても大学生の先輩はみんな優しいし、分からないことがあっても丁寧に教えてくれます。また、参加をすると決めたら積極的に会話をした方がいいと思います。英語が苦手でもI can't speak English で終わってしまうのはそれはもったいない！英語が喋れないことを気にする必要はないと思います。ジャパニーズイングリッシュでも伝わるし、会話中に英語が出てこなくて戸惑ってしまってもカバーしてくれたり、優しい方がとても多いです。正直英語は難しく考えなくても積極性があればだれでも答えてくれます。海外の人と関われる良い機会なので英語を使うことを恐れなくてほしいです。また大学生の先輩に話しかけるのは大変だと思いますが、積極的に話しかければ相談に乗ってくれたり沢山のことを知れる良い機会になると思います。

# 参加学生体験談（要旨）

芝浦工業大学柏高等学校

1年

他国の人と英語でコミュニケーションしてみたいと思い、参加をしました。

グループで活動する中では、自分自身ができることやできないことをしっかり伝えることの重要性を学びました。例えば、何かの実験をするにしても、自分の能力とは関係なく、コロナによる行動制限のため行えないということもありましたが、こういったことを、申し訳ないからといって最初に共有せずあとで迷惑をかけるよりも、最初に自分ができること、できないことをしっかり伝えておくことで、自分ができるベストの関わり方でチームに貢献することができました。